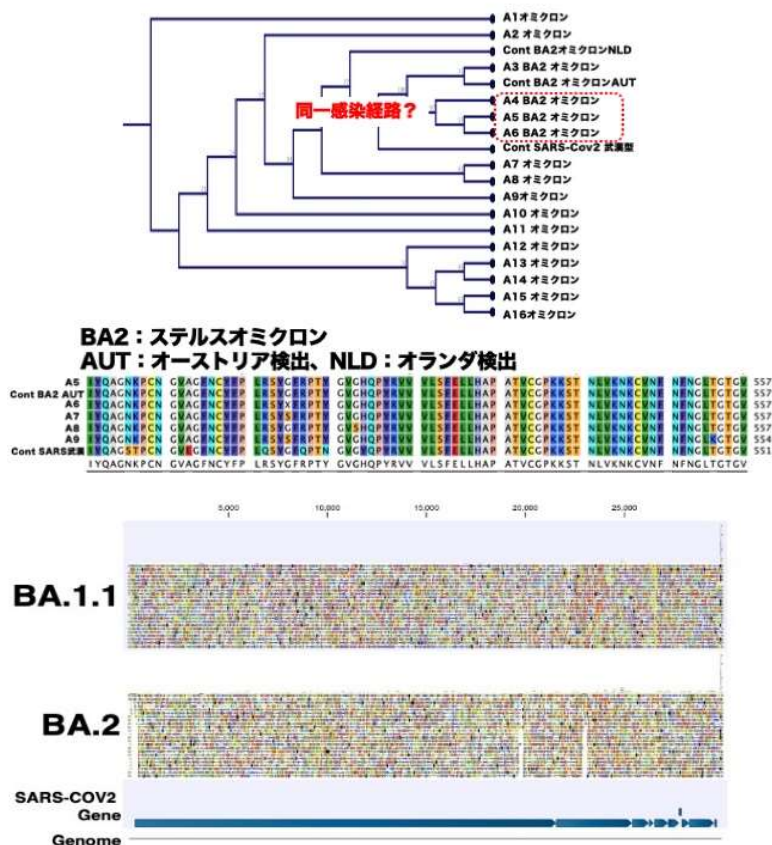


新型コロナウイルス変異株の特定に威力を発揮 —山口大学遺伝子実験施設で検査2日間—

山口大学研究推進機構・遺伝子実験施設（小串キャンパス）では、山口県内で検出された新型コロナウイルスの全ゲノム解析を実施しています。次世代シーケンサーを用いて新型コロナウイルスの遺伝子配列を検出し、得られた全ゲノムデータをヒトゲノム用大型コンピュータで解析しています。行政からの委託により検体を受け取り後、他の検査機関では1週間以上かかるところを、わずか2日間で解析し変異株のデータを返却しています。速やかにデータを返却することで、新型コロナウイルスの株ごとに異なる特性の違いを考慮した感染対策に寄与しています。

山口県内の新型コロナウイルスの全ゲノム解析



本件問い合わせ先

山口大学大学研究推進機構
総合科学実験センター遺伝子実験施設
教授 水上 洋一
TEL : 0836-22-2183
E-Mail : mizukami@yamaguchi-u. ac. jp

発信者

国立大学法人山口大学総務企画部
広報室
〒753-8511 山口市吉田 1677-1
TEL 083-933-5007
FAX 083-933-5013
E-mail sh011@yamaguchi-u. ac. jp